

平成24年3月期

決算補足資料（連結・単独）

## 目次

### 【連結情報】

- P. 1・・・ 連結業績の状況、セグメント情報、連単倍率、経営指標
- P. 2-3・・・ 平成23年度（24年3月期）の連結決算業績  
（①売上高、②営業利益、③経常利益、④特別損益、⑤当期純利益）  
主な製品の売上高、海外売上高
- P. 4・・・ 平成24年度（25年3月期）の連結決算業績（見込み）  
（①売上高、②営業利益、③経常利益、④当期純利益）
- P. 5・・・ 連結決算業績（見込み）、主な製品の売上高（見込み）
- P. 6・・・ 連結キャッシュ・フローの状況
- P. 7・・・ 連結損益計算書
- P. 8-9・・・ 連結貸借対照表
- P. 10・・・ 連結株主資本等変動計算書
- P. 11・・・ 連結包括利益計算書、発行済株式・自己株式
- P. 12・・・ 退職給付債務の状況について
- P. 13・・・ 減価償却費・設備投資額、期末従業員数

### 【単独情報】

- P. 14・・・ 主要な経営指標等の推移
- P. 15・・・ 損益計算書
- P. 16-17・・・ 貸借対照表
- P. 18・・・ 株主資本等変動計算書
- P. 19-20・・・ 販売費及び一般管理費・率、有価証券・投資有価証券残高内訳、  
期末従業員数、株式の状況
- P. 21-26・・・ 開発品の進捗状況・主な開発品のプロフィール

(注) (単位：億円) は、億円未満の数値を四捨五入しています。

## 平成 23 年度 (24 年 3 月期) 連結決算

### 連結業績の状況

(単位：億円)

	22年度 実績	23年度 予想	23年度 実績	予想比	前期比
売上高	1,353	1,454	1,458	+0.3%	+7.8%
営業利益	352	376	379	+0.8%	+7.7%
経常利益	375	400	405	+1.1%	+7.8%
当期純利益	242	238	244	+2.4%	+0.6%

(注) 23年度予想の数値は、平成24年4月23日に公表したものです。

### セグメント情報

(1) 当期の部門別業績の概況

(単位：億円)

事業部門	売上高
医薬品事業	1,458

(2) 当期の海外売上高の概況

(単位：億円)

地域	売上高
本邦	1,412
海外	46

### 連単倍率

	22年度	23年度
(損益計算書関係)		
売上高	1.01	1.01
営業利益	1.02	1.02
経常利益	1.02	1.03
当期純利益	1.01	1.03
(貸借対照表関係)		
総資産	1.02	1.02
純資産	1.02	1.02

### 経営指標

(単位：円)

	22年度		23年度	
	連結決算	単独決算	連結決算	単独決算
一株当たり当期純利益	223.88	221.43	229.78	223.04
一株当たり純資産	3,685.23	3,658.18	3,753.04	3,719.17
自己資本比率	92.1%	93.0%	91.2%	92.0%

## 平成23年度(24年3月期)の連結決算業績

①売上高 1,458億円 前期比105億円(7.8%)増(前期1,353億円)

- ・「グラクティブ錠」、「イメンドカプセル」が大きく伸長
- ・平成23年7月に「リバスタッチパッチ」を新発売
- ・平成23年9月に「リカルボン錠50MG」を新発売

②営業利益 379億円 前期比27億円(7.7%)増(前期352億円)

- ・売上原価 前期比42億円(17.1%)増の290億円(原価率18.3%→19.9%)  
原価率が高い新製品(導入品)の売上比率上昇による
- ・販売費及び一般管理費 前期比36億円(4.8%)増の789億円
  - (1) 研究開発費 前期比14億円(3.4%)増の444億円  
契約一時金の負担が減少した一方で、開発費用が増加
  - (2) その他の販管費 前期比21億円(6.6%)増の345億円  
新製品発売に伴い営業費用が増加

③経常利益 405億円 前期比29億円(7.8%)増(前期375億円)

④特別損益 4億円の損失 前期比2億円損失が減少

- (1) 特別利益が前期比3億円増加の3億円  
(当期) 関係会社株式取得に伴い「負ののれん」3億円を計上
- (2) 特別損失が前期比1億円増加の7億円  
(当期) 投資有価証券売却損・評価損合計7億円を計上

⑤当期純利益 244億円 前期比1億円(0.6%)増(前期242億円)

税率変更に伴う繰延税金資産の取崩しの影響により、税金等調整前当期純利益に対する税金費用の負担比率が増加

## 主な製品の売上高（期間別）

（単位：億円）

製品名	24年3月期実績						
	累計実績					前年同期比	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		増減額	増減率
オパールモン錠	101	100	111	83	395	▲6	▲1.5%
グラクティブ錠	62	66	80	70	279	+168	+150.7%
オノンカプセル	52	36	51	53	191	▲24	▲11.2%
キネダック錠	31	29	31	22	112	▲20	▲15.1%
フオイパン錠	27	25	29	21	102	▲8	▲7.2%
オノンドライシロップ	19	14	25	19	76	▲9	▲11.0%
イメンドカプセル	16	16	19	15	66	+18	+38.5%
ステーブラ錠	16	14	17	15	61	+3	+4.8%
注射用エラスポール	11	10	13	10	44	▲6	▲12.5%
リカルボン錠	5	8	11	11	35	+16	+80.3%
リカルボン錠（1mg）	（5）	（5）	（4）	（3）	（17）	（▲2）	（▲11.1%）
リカルボン錠（50mg）	（-）	（2）	（7）	（9）	（18）	（平成23年9月発売）	
注射用オノアクト	9	8	10	6	33	▲2	▲5.9%
リバスタッチパッチ	-	4	4	4	12	（平成23年7月発売）	

## 海外売上高

（単位：億円）

	22年度	23年度
輸出高	38	31
海外特許料収入	0	15
海外売上高合計	38	46
売上高比率	2.8%	3.2%

### 主要輸出先

韓国、台湾、イタリア、ドイツなど

### 主要輸出品目

オパールモン、オノン、プロスタンディン、プレグランディン、エフォーワイ、フオイパンなど

## 平成 24 年度（25 年 3 月期）の連結決算業績（見込み）

**①売上高** 1,462 億円 前期比 4 億円（0.3%）増（23 年度 1,458 億円）

（増加要因）

「グラクティブ錠」、「イメンド／プロイメンド」、「リカルボン錠」、  
「リバスタッチパッチ」などの新製品の伸長

（減少要因）

- ・平成 24 年 4 月の薬価引き下げ
- ・後発医薬品の使用促進策の普及・浸透
- ・平成 23 年度に計上したマイルストーン収入の反動

**②営業利益** 327 億円 前期比 52 億円（13.7%）減（23 年度 379 億円）

- ・売上原価 前期比 38 億円（13.2%）増の 328 億円（原価率 19.9%→22.5%）  
薬価引き下げ、原価率が高い新製品（導入品）の売上比率上昇による
- ・販売費及び一般管理費 前期比 18 億円（2.3%）増の 807 億円
  - （1）研究開発費 前期比 17 億円（3.9%）増の 461 億円  
主として開発費用が増加
  - （2）その他の販管費 前期比 1 億円（0.3%）増の 346 億円

※売上原価、販売費及び一般管理費中の退職給付費用

平成 23 年度 ▲9 億円（退職給付制度改定などの影響による）

平成 24 年度 +17 億円

**③経常利益** 341 億円 前期比 64 億円（15.7%）減（23 年度 405 億円）

**④当期純利益** 230 億円 前期比 14 億円（5.6%）減（23 年度 244 億円）

平成 23 年度の税率変更に伴う繰延税金資産の取崩しの影響が無くなることや法人税率の引き下げなどにより税金等調整前当期純利益に対する税金費用の負担比率が減少

## 連結決算業績（見込み）

（単位：億円）

	22年度	23年度	24年度見込み	23年度比
売上高	1,353	1,458	1,462	+0.3%
営業利益	352	379	327	▲13.7%
経常利益	375	405	341	▲15.7%
当期純利益	242	244	230	▲5.6%

## 主な製品の売上高（見込み）

（単位：億円）

製品名	23年度			24年度見込		
	実績	前年比		予想	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
オパルモン錠	395	▲6	▲1.5%	355	▲40	▲10.1%
グラクティブ錠	279	+168	+150.7%	330	+51	+18.4%
オノンカプセル	191	▲24	▲11.2%	165	▲26	▲13.7%
キネダック錠	112	▲20	▲15.1%	90	▲22	▲19.7%
フオイパン錠	102	▲8	▲7.2%	85	▲17	▲16.4%
リカルボン錠	35	+16	+80.3%	80	+45	+127.5%
オノンドライシロップ	76	▲9	▲11.0%	75	▲1	▲1.4%
イメンド/プロイメンド	67	+20	+41.6%	75	+8	+11.7%
ステーブラ錠	61	+3	+4.8%	70	+9	+14.3%
注射用エラスポール	44	▲6	▲12.5%	40	▲4	▲8.1%
リバスタッチパッチ	12	(平成23年7月発売)		38	+26	+208.6%
注射用オノアクト	33	▲2	▲5.9%	36	+3	+7.8%

## 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	22年度	23年度	増減
現金及び現金同等物期首残高	721	826	+105
営業活動によるキャッシュ・フロー	298	216	▲82
投資活動によるキャッシュ・フロー	111	▲1	▲112
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲303	▲191	+113
増減（現金及び現金同等物）	105	25	▲80
現金及び現金同等物期末残高	826	851	+25

(注) 各年度の▲はキャッシュの流出を示しています。

(増減の主な内容・・・カッコ内は、22年度→23年度)

- ①営業活動によるキャッシュ・フロー **82億円収入の減少**
- 未収入金等の入金減少 **▲99億円** (66億円→▲32億円)
  - たな卸資産の増加 **▲72億円** (16億円→▲56億円)
  - 売上債権の減少 **+39億円** (▲51億円→▲11億円)
  - 退職給付関連資産の減少 **+30億円** (▲38億円→▲9億円)
  - 税金等調整前当期純利益の増加 **+31億円** (369億円→400億円)
- ②投資活動によるキャッシュ・フロー **112億円収入の減少**
- 有価証券及び投資有価証券の償還等による収入と取得による支出の差額 **▲97億円** (127億円→30億円)
  - 有形固定資産の取得による支出の増加 **▲7億円** (▲13億円→▲20億円)
- ③財務活動によるキャッシュ・フロー **113億円支出の減少**
- 自己株式の取得による支出の減少 **108億円** (▲108億円→▲0億円)
  - 配当の支払いの減少 **5億円** (▲196億円→▲191億円)



# 連結損益計算書

(単位：億円)

	22年度実績					23年度実績					通期 増減
	累 計 実 績					累 計 実 績					
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
売上高	338	299	378	336	1,353	363	338	426	330	1,458	+105
(前年同期比増減率)	▲7.2%	▲2.6%	▲3.3%	13.4%	▲0.5%	+7.4%	+13.0%	+12.6%	▲1.9%	+7.8%	
売上原価	59	52	67	68	248	68	67	83	72	290	+42
(対売上高比率)	17.5%	17.5%	17.8%	20.3%	18.3%	18.7%	19.8%	19.4%	21.9%	19.9%	
販売費及び 一般管理費	162	233	169	189	753	173	217	186	213	789	+36
(対売上高比率)	47.8%	77.9%	44.7%	56.2%	55.7%	47.7%	64.0%	43.7%	64.5%	54.1%	
(内、研究開発費)	80	155	84	111	429	94	127	97	126	444	+14
(対売上高比率)	23.7%	51.7%	22.1%	32.9%	31.7%	25.8%	37.6%	22.7%	38.2%	30.4%	
営業利益	117	14	142	79	352	122	55	157	45	379	+27
(前年同期比増減率)	▲25.8%	▲79.3%	+16.6%	+49.4%	▲11.6%	+3.8%	+304.4%	+11.0%	▲43.4%	+7.7%	
(営業利益率)	34.7%	4.5%	37.5%	23.5%	26.0%	33.5%	16.2%	36.9%	13.6%	26.0%	
営業外収益	14	6	11	4	35	14	5	11	5	34	▲0
営業外費用	2	1	2	7	11	2	2	2	4	9	▲3
経常利益	129	19	152	76	375	134	58	167	46	405	+29
(前年同期比増減率)	▲24.3%	▲73.3%	+15.9%	+37.9%	▲12.1%	+3.9%	+206.3%	+10.2%	▲40.1%	+7.8%	
(経常利益率)	38.0%	6.3%	40.1%	22.7%	27.8%	36.8%	17.2%	39.2%	13.8%	27.8%	
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	3	—	3	+3
特別損失 (※1)	1	1	1	4	6	4	35	5	▲37	7	+1
税金等調整前 四半期純利益	128	18	151	72	369	130	23	164	82	400	+31
法人税・住民税 及び事業税等 (※2)	44	8	53	19	124	46	22	71	15	154	+30
少数株主損益 調整前純利益	84	11	97	53	245	84	1	93	67	246	+2
少数株主利益	0	1	1	1	3	1	1	1	0	3	+0
四半期純利益	83	10	97	52	242	83	0	93	67	244	+1
(前年同期比増減率)	▲25.5%	▲79.8%	+11.6%	+58.8%	▲13.1%	+0.3%	▲96.3%	▲4.0%	+28.2%	+0.6%	
(当期純利益率)	24.6%	3.3%	25.6%	15.5%	17.9%	23.0%	0.1%	21.8%	20.3%	16.7%	

※1 平成24年1～3月に特別損失▲37億円が生じているのは、平成23年4～12月に計上していた投資有価証券評価損が株価の回復により減少したことによる。

※2 平成23年10～12月に、法人税率の変更を受け、法人税・住民税及び事業税が増加している。

## 連結貸借対照表 資産の部

(単位：億円)

	22年度	23年度	増減
流動資産	1,914	2,022	+109
現金及び預金	224	210	▲15
受取手形及び売掛金	367	379	+11
有価証券	1,035	1,048	+13
たな卸資産	130	186	+56
繰延税金資産	136	148	+12
その他	20	52	+32
貸倒引当金	▲0	▲0	+0
固定資産	2,331	2,342	+11
有形固定資産	486	480	▲6
建物及び構築物	225	226	+1
機械装置及び運搬具	20	17	▲3
土地	226	225	▲0
建設仮勘定	7	3	▲4
その他	8	8	+0
無形固定資産	10	10	+0
投資その他の資産	1,835	1,852	+17
投資有価証券	1,680	1,687	+7
繰延税金資産	58	46	▲12
その他	98	119	+22
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0
資産の部合計	4,244	4,364	+120

(※1)

(※2)

※1 未収入金の増加などによる。

※2 前払年金費用の増加などによる。

(参考)

金融資産（現金及び預金、有価証券、投資有価証券の合計）の過去3年間の推移

(単位：億円)

	21年度(22年3月末)	22年度(23年3月末)	23年度(24年3月末)
金融資産残高	3,038	2,939	2,945

## 連結貸借対照表 負債及び純資産の部

(単位：億円)

	22年度	23年度	増減
負債の部	299	354	+56
流動負債	262	310	+48
支払手形及び買掛金	53	58	+4
未払法人税等	74	89	+15
賞与引当金	40	42	+2
その他の引当金	17	17	+0
その他	78	105	+28
固定負債	37	44	+7
長期借入金	0	0	▲0
長期未払金	1	1	▲0
繰延税金負債	0	0	+0
再評価に係る繰延税金負債	29	26	▲4
退職給付引当金	5	16	+11
その他引当金	1	1	▲0
その他	1	1	+0
純資産の部	3,946	4,008	+63
資本金	174	174	—
資本剰余金	171	171	—
利益剰余金	4,355	4,258	▲97
自己株式	▲742	▲592	+150
株主資本合計	3,958	4,010	+53
<sup>(※3)</sup> 其他有価証券評価差額金	42	57	+16
土地再評価差額金	▲89	▲86	+4
為替換算調整勘定	▲3	▲3	▲0
その他の包括利益累計額合計	▲50	▲31	+19
少数株主持分	39	31	▲8
負債及び純資産合計	4,244	4,364	+120

### ※3 自己保有の株式数

22年度末 1,482万株      23年度末 1,182万株  
 平成23年4月の取締役会決議により、自己株式300万株を消却している。

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：億円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	174	171	4,355	▲742	3,958
当期変動額					
剰余金の配当			▲191		▲191
当期純利益			244		244
自己株式の取得				▲0	▲0
自己株式の消却			▲150	150	0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					-
当期変動額合計	-	-	▲97	150	53
当期末残高	174	171	4,258	▲592	4,010

	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額				少数株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価 差額金	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
前期末残高	42	▲89	▲3	▲50	39	3,946
当期変動額						
剰余金の配当						▲191
当期純利益						244
自己株式の取得						▲0
自己株式の消却						0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	16	4	▲0	19	▲8	11
当期変動額合計	16	4	▲0	19	▲8	64
当期末残高	57	▲86	▲3	▲31	31	4,010

## 連結包括利益計算書

(単位：億円)

	22年度実績					23年度実績				
	累計実績					累計実績				
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
少数株主損益調整前 四半期純利益	84	11	97	53	245	84	1	93	67	246
(前年同期比増減率)	—	—	—	—	▲13.0%	+0.9%	▲89.6%	▲4.1%	+27.0%	+0.6%
その他の包括利益										
その他の有価証券 評価差額金	▲52	▲21	27	▲10	▲56	▲5	15	▲23	29	16
為替換算 調整勘定	▲0	▲0	▲0	▲0	▲1	0	▲0	▲0	0	▲0
持分法適用会社に 対する持分相当額	▲0	▲0	0	▲0	▲0	▲0	▲0	0	0	0
その他計上額	—	—	—	—	—	—	—	4	—	4
その他の 包括利益合計	▲52	▲22	27	▲10	▲57	▲5	15	▲20	30	19
包括利益合計	32	▲11	124	43	188	79	16	73	97	266
(前年同期比増減率)	—	—	—	—	▲47.2%	+148.3%	—	▲40.9%	+125.2%	+41.2%

## 発行済株式・自己株式

(単位：千株)

株式の種類	22年度(23年3月末)	増加	減少	23年度(24年3月末)
発行済株式 普通株式	120,847	—	3,000	117,847
自己株式 普通株式	14,826	2	3,000	11,828

(増加) 単元未満株式の買取りなどによる増加

(減少) 取締役会決議に基づく自己株式消却による減少

## 退職給付債務の状況について

23年4月期首時点 (連結) 割引率1.4%適用 (単位:億円)

退職給付債務	362
年金資産(時価)	419
前払年金費用	38
退職給付引当金	5

過去勤務債務	▲37
数理計算上の差異	14

平成23年4月1日付で、退職給付制度の改定を行いました。この制度改定は、給付利率の見直しを主な内容としており、退職給付債務が約37億円減少しました。

平成22年度に発生した年金資産の運用損(未認識数理計算上の差異)14億円については、平成23年度に退職給付費用として計上しました。

24年3月末時点 (連結) 割引率1.4%適用 (単位:億円)

退職給付債務	371
年金資産(時価)	411
前払年金費用	58
退職給付引当金	16

未認識数理計算上の差異	2
-------------	---

平成23年度に発生した未認識数理計算上の差異2億円については、平成24年度に退職給付費用に計上する予定です。

## 減価償却費・設備投資額 (連結決算ベース)

### ・減価償却費

(単位：億円)

	22年度	23年度	24年度 予定
減価償却費 対売上比率%	30 2.2%	29 2.0%	27 1.8%

### ・設備投資額 (工事ベース)

(単位：億円)

	22年度	23年度	24年度 予定
生産設備 生産機器更新等	7	7	16
研究設備	5	14	3
営業設備他	5	4	3
合計	17	25	22

## 期末従業員数 (連結決算ベース)

	22年度(23年3月末)	23年度(24年3月末)
期末従業員数(人)	2,655	2,754

## 平成23年度(24年3月期)単独決算

### 主要な経営指標等の推移

(単位：億円)

	22年度	23年度	24年度 予定
売上高	1,336	1,442	1,446
営業利益	345	371	319
経常利益	368	394	333
当期純利益	240	236	227
一株当たり当期純利益	221.43円	223.04円	214.09円
一株当たり年間配当金(注)	180円	180円	180円
純資産	3,879	3,943	
総資産	4,169	4,289	
自己資本比率	93.0%	92.0%	
一株当たり純資産	3,658.18円	3,719.17円	
自己資本当期純利益率(ROE)	6.1%	6.0%	

(注) 22年度一株当たり年間配当金の内訳 普通配当 180円  
23年度一株当たり年間配当金の内訳 普通配当 180円



## 損益計算書

(単位：億円)

	22年度	23年度	増減
売上高	1,336	1,442	+106
売上原価 (売上原価率)	241 18.1%	285 19.8%	+44
研究開発費 (研究開発費率)	431 32.2%	442 30.7%	+12
その他販管費 (販管費率)	319 23.9%	344 23.8%	+25
営業利益	345	371	+26
営業外収益	34	32	▲2
受取利息及び配当金	29	28	▲1
営業外費用	11	9	▲3
経常利益	368	394	+26
特別利益	—	—	—
特別損失	6	7	+1
投資有価証券評価損	6	2	▲4
投資有価証券売却損	—	5	+5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	0	—	▲0
税引前当期純利益	361	387	+26
法人税・住民税及び事業税	124	152	+28
法人税等調整額	▲2	▲2	+1
当期純利益	240	236	▲3

(※1)

(※2)

※1 売上原価率が上昇している理由

グラクティブ錠、イメンドカプセルなど、原価率が高い新製品（導入品）の売上比率が上昇していることなどによる。

※2 研究開発費が増加している理由

契約一時金の負担が減少した一方で、開発費用が増加したことによる。

## 貸借対照表

(単位：億円)

	22年度	23年度	増減
(資産の部)			
<b>I 流動資産</b>	<b>1,866</b>	<b>1,952</b>	<b>+86</b>
現金・預金	190	154	▲36
受取手形	0	0	+0
売掛金	361	372	+11
有価証券	1,032	1,045	+13
たな卸資産	127	183	+56
繰延税金資産	135	147	+12
未収入金	13	45	+32
その他	7	6	▲1
貸倒引当金	▲0	—	+0
<b>II 固定資産</b>	<b>2,304</b>	<b>2,337</b>	<b>+33</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>471</b>	<b>465</b>	<b>▲7</b>
建物	211	214	+2
機械・装置	16	14	▲3
土地	225	225	▲0
建設仮勘定	7	1	▲6
その他	12	12	▲0
<b>無形固定資産</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>+0</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,823</b>	<b>1,863</b>	<b>+40</b>
投資有価証券	1,668	1,675	+7
繰延税金資産	57	45	▲12
その他	98	142	+44
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0
<b>資産合計</b>	<b>4,169</b>	<b>4,289</b>	<b>+119</b>

(※1)

※1 前払年金費用、関係会社株式の増加などによる。

(単位：億円)

	22年度	23年度	増減
(負債の部)			
<b>I 流動負債</b>	<b>255</b>	<b>303</b>	<b>+48</b>
支払手形	0	0	▲0
買掛金	50	53	+4
未払費用	37	50	+13
未払法人税等	73	87	+14
賞与引当金	39	41	+2
役員賞与引当金	1	1	+0
返品調整引当金	0	0	+0
売上割戻引当金	9	9	+0
販売促進引当金	7	7	▲0
その他	39	54	+15
<b>II 固定負債</b>	<b>35</b>	<b>43</b>	<b>+7</b>
長期借入金	0	0	▲0
長期未払金	1	1	▲0
再評価に係る繰延税金負債	29	26	▲4
退職給付引当金	4	15	+11
その他	1	1	▲0
<b>負債合計</b>	<b>291</b>	<b>345</b>	<b>+55</b>
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	174	174	—
資本剰余金	170	170	—
資本準備金	170	170	—
利益剰余金	4,325	4,221	▲105
利益準備金	43	43	—
その他利益剰余金	4,282	4,177	▲105
別途積立金等	3,745	3,745	+0
繰越利益剰余金	537	432	▲105
自己株式	▲742	▲592	+150
<b>株主資本合計</b>	<b>3,927</b>	<b>3,973</b>	<b>+46</b>
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	41	57	+15
土地再評価差額金	▲89	▲86	+4
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>▲48</b>	<b>▲29</b>	<b>+19</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,879</b>	<b>3,943</b>	<b>+65</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>4,169</b>	<b>4,289</b>	<b>+119</b>

(※2)

※2 自己保有の株式数 22年度末 1,481万株 23年度末 1,181万株  
平成23年4月の取締役会決議により、自己株式300万株を消却している。

# 株主資本等変動計算書

(単位：億円)

	株 主 資 本							
	資本金	資本 剰余金	利 益 剰 余 金				自己 株式	株主資本 合計
			利益 準備金	別途 積立金等	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
前期末残高	174	170	43	3,745	537	4,325	▲742	3,927
当期変動額								
剰余金の配当					▲191	▲191		▲191
当期純利益					236	236		236
固定資産圧縮積立金の積立				0	▲0	0		0
自己株式の取得							▲0	▲0
自己株式の消却					▲150	▲150	150	0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								-
当期変動額合計	-	-	-	0	▲105	▲105	150	46
当期末残高	174	170	43	3,745	432	4,221	▲592	3,973

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
前期末残高	41	▲89	▲48	3,879
当期変動額				
剰余金の配当				▲191
当期純利益				236
固定資産圧縮積立金の積立				0
自己株式の取得				▲0
自己株式の消却				0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	15	4	19	19
当期変動額合計	15	4	19	65
当期末残高	57	▲86	▲29	3,943

## 販売費及び一般管理費・率

(単位：億円)

	22年度	23年度	24年度 予定
販売費 対売上比率 %	100 7.5	114 7.9	88 6.1
研究開発費 対売上比率 %	431 32.2	442 30.7	462 32.0
その他 対売上比率 %	219 16.4	230 16.0	252 17.4
合計 対売上比率 %	750 56.1	786 54.5	802 55.5

## 有価証券・投資有価証券残高内訳

(単位：億円)

### 有価証券

FFF・MMF 651  
1年以内償還債券 394

合計 1,045

### 投資有価証券

債券 907  
株式 744  
その他 24

合計 1,675

## 期末従業員数

	22年度 (23年3月末)	23年度 (24年3月末)
期末従業員数(人)	2,418	2,492

## 株式の状況（平成24年3月31日現在）

### 株式数

1.発行可能株式総数	_____	300,000,000株
2.発行済株式の総数	_____	117,847,500株

### 株主数

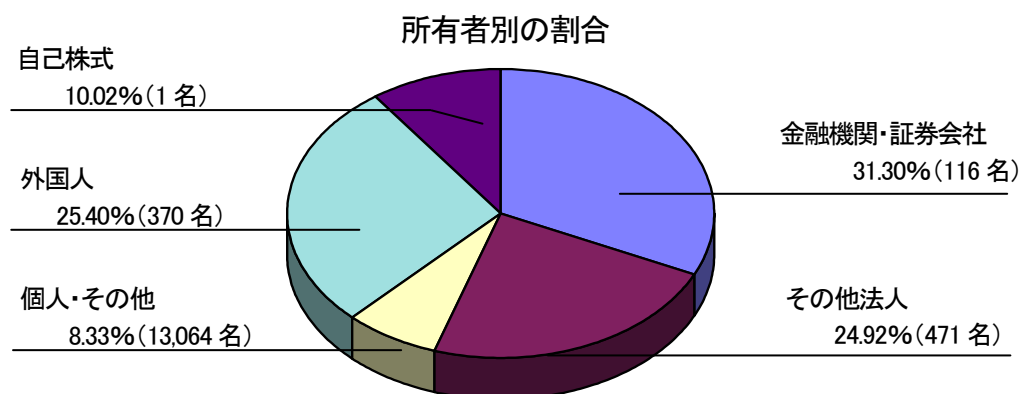
_____	14,022名
-------	---------

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	7,900	6.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,856	4.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,769	4.89
明治安田生命保険相互会社	3,718	3.15
株式会社 鶴 鳴 荘	3,298	2.79
公益財団法人 小 野 奨 学 会	3,285	2.78
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	2,458	2.08
S S B T O D O 5 O M N I B U S A C C O U N T - T R E A T Y C L I E N T S	1,780	1.51
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	1,739	1.47
株式会社 三菱東京 U F J 銀行	1,728	1.46

(注) 当社は、自己株式 11,817 千株を保有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。

## 株式の分布状況



(注) 上記所有者別の割合について、小数点以下第3位以下を切り捨てているため、各項目の比率を加算しても100%になっておりません。

## 開発品の進捗状況

## 1. 国内開発品状況

## &lt; 申請中開発品 &gt;

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	剤型	
イメンドカプセル (ONO-7436) /MK-0869	小児での効能 追加	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐／ニュー ロキニン 1 受容体拮抗作用	カプセル	導入 (米メルク社)

## &lt; 臨床試験中開発品 &gt;

製品名／製品名候補 ／開発コード／一般名	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ <sup>*</sup>	剤型	
グラクティブ錠 (ONO-5435) /MK-0431	効能追加	2 型糖尿病 (速効型インスリン分泌促進 薬との併用療法) /D P P - 4 阻害作用	III	錠	共同 (米メルク社)
グラクティブ・メトホル ミン配合錠 (ONO-5435A) /MK-0431A	新医療用 配合剤	2 型糖尿病 /D P P - 4 阻害作用及び 肝糖新生抑制作用・インスリン抵抗性 改善作用	III	錠	共同 (米メルク社)
ONO-4164SC /BMS-188667SC	剤型追加	関節リウマチ /T 細胞活性化抑制作用	III	注射	共同 (グリストル・マイアーズ スクイブ社)
注射用オノアクト (ONO-1101)	効能追加	心機能低下例における頻脈性不整脈 /β <sub>1</sub> 遮断作用 (短時間作用型)	II/III	注射	自社
ONO-7165 /EMD531444	新有効成分	非小細胞肺がん /腫瘍抗原 MUC-1 由来 ペプチドワクチン	II	注射	共同 (独メルク社)
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症 /S 1 P 受容体作動作用	II	錠	自社
ONO-3849 /Methylnaltrexone bromide	新有効成分	オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性 便秘 /μ オピオイド受容体拮抗作用	II	注射	導入 (プロジェックス社)
ONO-7643 /RC-1291	新有効成分	がん悪液質 /グレリン様作用	II	錠	導入 (ヘルシン社)
ONO-2745 /CNS 7056	新有効成分	全身麻酔 /G A B A <sub>A</sub> 受容体作動作用 (短時間作用型)	II	注射	導入 (パイオン社)
オパルモン錠 (OP-1206)	効能追加	手根管症候群 /血管拡張作用	II	錠	共同 (大日本住友製薬)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	悪性黒色腫 /完全ヒト型抗 P D - 1 抗体	II	注射	自社
ONO-7057 /Carfilzomib	新有効成分	多発性骨髄腫 /プロテアソーム阻害 作用	I / II	注射	導入 (オニキス社)
ONO-3951 /Asimadoline	新有効成分	過敏性腸症候群 /κ オピオイド受容体 作動作用	I	錠	導入 (タイオガ社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 /ロイコトリエン受容体 拮抗作用	I	錠	自社
ONO-7056 /Salirasib	新有効成分	固形がん /Ras シグナル阻害薬	I	錠	導入 (カドモン社)
ONO-5163 <sup>※1</sup> /KAI-4169	新有効成分	二次性副甲状腺機能亢進症 /カルシウ ム受容体作動作用	I	注射	導入 (アムジエン社)

平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算発表 (2 月 2 日) 時点からの変更点

※1: カルシウム受容体作動薬「ONO-5163」は、フェーズ I 試験を開始しました。

※2：骨粗鬆症を対象に開発を進めておりました「ONO-5334」は、骨粗鬆症領域の競合状況や環境の変化などを踏まえ、総合的に勘案した結果、本剤の骨粗鬆症領域での開発を中止しました。

## 2. 国外開発品状況

< 臨床試験中開発品 >

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症／S1P受容体作動作用	II	錠	導出 (独メルク社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	腎細胞がん／完全ヒト型抗PD-1抗体	II	注射	導出 (フリストル・マヤーズ スクイブ社)
ONO-6950 <sup>※3</sup>	新有効成分	気管支喘息／ロイコトリエン受容体拮抗作用	II	錠	自社
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	C型肝炎／完全ヒト型抗PD-1抗体	I	注射	導出 (フリストル・マヤーズ スクイブ社)
ONO-7746	新有効成分	血小板減少症／トロンボポエチン受容体作動作用	I	カプセル	導入 (日産化学工業)
ONO-2952	新有効成分	過敏性腸症候群／TSPO (トランスロケータープロテイン) 拮抗作用	I	錠	自社
ONO-4053	新有効成分	アレルギー性鼻炎／プロスタグランディンD2受容体拮抗作用	I	錠	自社
ONO-9054	新有効成分	緑内障・高眼圧症／プロスタグランディン受容体 (FP/EP3) 作動作用	I	点眼	自社
ONO-4059 <sup>※4</sup>	新有効成分	B細胞リンパ腫／Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	I	錠	自社

平成24年3月期第3四半期決算発表(2月2日)時点からの変更点

※3:ロイコトリエン受容体拮抗薬「ONO-6950」は、気管支喘息を対象にフェーズII試験を開始しました。

※4:Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害薬「ONO-4059」は、フェーズI試験を開始しました。



## 主な開発品

### ONO-4164SC/BMS-188667SC 注射剤

ONO-4164SC は、オレンシアの皮下投与製剤で、関節リウマチを対象として開発を進めております。本剤はT細胞を活性化するシグナルを阻害することでサイトカインの分泌を抑制し、関節の炎症を鎮静化します。なお、オレンシアの静脈内投与製剤は既存治療で効果不十分な関節リウマチを対象に上市されております。

国内：関節リウマチ フェーズⅢ（ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発）

海外：関節リウマチ 承認取得（ブリストル・マイヤーズ スクイブ社）

### ONO-7165/EMD531444 注射剤

ONO-7165 は、リポソームワクチンで、非小細胞肺癌を対象として開発を進めております。本剤は腫瘍抗原である MUC-1 を標的とするがん免疫療法薬で、この腫瘍抗原を免疫細胞が認識して、腫瘍細胞を攻撃すると考えられております。

国内：非小細胞肺癌 フェーズⅡ（独メルク社と共同開発）

海外：非小細胞肺癌 フェーズⅢ（独メルク社）

### ONO-4641 錠剤

ONO-4641 は S1P（スフィンゴシン-1-リン酸）受容体作動薬で、多発性硬化症を対象として開発を進めています。本剤は血中のリンパ球をリンパ節にとどめ、血中のリンパ球数を減少させる作用を持つ低分子化合物であり、その結果として病巣へのリンパ球浸潤を抑制することで、難病とされる多発性硬化症などの自己免疫疾患の画期的な治療薬になるものと期待しております。

国内：多発性硬化症 フェーズⅡ（日米欧三極での国際共同治験）

海外（米国、欧州）：多発性硬化症 フェーズⅡ（日米欧三極での国際共同治験）

### ONO-3849/Methylnaltrexone bromide 注射剤

ONO-3849 は末梢の  $\mu$  オピオイド受容体拮抗薬で、オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘を対象に開発を進めています。オピオイド鎮痛薬は癌性疼痛に対して主に使用されているのですが、副作用として難治性の便秘を伴います。本剤はオピオイド鎮痛薬の鎮痛効果に影響を及ぼすことなく、オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性の便秘を改善する薬剤です。

国内：オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘 フェーズⅡ

海外：発売中（プロジェニックス社）

### ONO-7643/RC-1291 錠剤

ONO-7643 は低分子のグレリン様作用薬で、がん悪液質を対象として開発を進めています。本剤は食欲増進や筋肉増強などの生理作用を有するホルモンであるグレリンと同様の作用を持つ低分子化合物であり、癌の進行に伴い食欲不振、体脂肪量や筋肉量の低下を特徴とする全身消耗状態（がん悪液質）にある患者さんの QOL を改善する画期的な薬剤になるものと期待しております。

国内：がん悪液質 フェーズⅡ

海外（米国など）：がん悪液質 フェーズⅢ（ヘルシン社）

#### ONO-2745/CNS 7056 注射剤

本剤は GABA<sub>A</sub> 受容体作動作用を有する短時間作用型全身麻酔薬で、全身麻酔時の導入及び維持、ならびに集中治療における人工呼吸管理中の鎮静剤として開発を進めております。本剤はエステラーゼと呼ばれる酵素によって速やかに代謝され、薬剤投与終了後速やかに鎮静効果が消失することから、調節性や安全性に優れた薬剤になるものと期待しています。

国内：全身麻酔 フェーズⅡ

海外（米国）：フェーズⅡ（パイオン社）

#### ONO-4538/BMS-936558 注射剤

ONO-4538 は完全ヒト型抗 PD-1 抗体で、癌などを対象として開発を進めています。PD-1 は、リンパ球の表面にある受容体の一種で、生体において活性化したリンパ球を沈静化させるシステム（負のシグナル）に関与しています。癌細胞は、このシステムを利用して免疫反応から逃れているという研究成績が報告されています。ONO-4538 は、リンパ球を沈静化させる PD-1 の働きを抑制することで、癌細胞やウイルスを異物と認識してこれを排除する免疫反応を増進するものと期待しております。

国内：悪性黒色腫 フェーズⅡ

海外（米国など）：腎細胞がん フェーズⅡ（ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発）

海外（米国）：C型肝炎 フェーズⅠ（ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発）

#### ONO-7057/Carfilzomib 注射剤

ONO-7057 はプロテアソーム阻害剤で、多発性骨髄腫を対象として開発を進めています。血液細胞の1つである形質細胞のがんであり、予後不良とされる多発性骨髄腫の新たな治療選択肢になるものと期待しております。

国内：多発性骨髄腫 フェーズⅠ／Ⅱ

海外：多発性骨髄腫 フェーズⅢ、米国は迅速承認申請中（オニキス社）

#### ONO-3951/Asimadoline 錠剤

ONO-3951 は $\kappa$ オピオイド受容体作動薬で、過敏性腸症候群を対象に開発を進めています。3種類あるオピオイド受容体（ $\mu$ 、 $\kappa$ 、 $\delta$ ）のうち、消化管の痛みや運動に関与しているといわれる $\kappa$ 受容体に選択的に作用し、腹痛をはじめとする種々の腹部症状を改善する薬剤です。

国内：過敏性腸症候群 フェーズⅠ

海外（米国）：過敏性腸症候群 フェーズⅢ（タイオガ社）

#### ONO-6950 錠剤

ONO-6950 はロイコトリエン受容体拮抗薬で、気管支喘息を対象に開発を進めています。気道炎症を抑制することにより、気管支喘息患者さんの症状改善が期待されます。

国内：気管支喘息 フェーズⅠ

海外（米国）：気管支喘息 フェーズⅡ

ONO-7746 カプセル (日産化学工業株式会社より導入)

ONO-7746 は体内において血小板の産生を促進する造血因子であるトロンボポエチンの受容体を活性化することにより血小板を増加させる経口投与が可能な低分子化合物で、血小板減少を伴う種々疾患の出血リスクの軽減や血小板輸血に伴う感染リスクを克服する薬剤として開発できるものと期待しています。なお、日産化学工業は原薬の開発・製造を担うなど、共同して開発を進めています。

海外 (米国) : 血小板減少症 フェーズ I

ONO-2952 錠剤

ONO-2952 は主に中枢においてニューロステロイドの産生に関与する TSPO (トランスロケータープロテイン) 拮抗薬で、過敏性腸症候群を対象に開発を進めています。ストレスが脳腸相関の異常を引き起こすメカニズムを遮断することで、過敏性腸症候群の諸症状を改善することが期待されます。

海外 (米国) : 過敏性腸症候群 フェーズ I

ONO-4053 錠剤

ONO-4053 はプロスタグランジンD2 受容体拮抗薬で、アレルギー性鼻炎を対象に開発を進めています。鼻閉、くしゃみ、鼻汁といったアレルギー性鼻炎の3主徴のなかで、特に鼻閉に対する改善効果が期待されます。

海外 (欧州) : アレルギー性鼻炎 フェーズ I

ONO-7056/Salirasib 錠剤

ONO-7056 はRas シグナル阻害剤で、膵がんなどRas 遺伝子変異の割合が多い癌腫での効果が期待されています。

国内 : 膵がん フェーズ I

海外 (米国) : 膵癌 フェーズ I (カドモン社)

ONO-5163/KAI-4169 注射剤

ONO-5163 はカルシウム受容体作動薬で二次性副甲状腺機能亢進症を対象に開発を進めています。

国内 : 二次性副甲状腺機能亢進症 フェーズ I

海外 (米国) : 二次性甲状腺機能亢進症 フェーズ II (アムジェン社)

ONO-9054 点眼剤

ONO-9054 はプロスタグランジン受容体 (FP/EP3) 作動薬で緑内障・高眼圧症を対象に開発を進めています。

海外 (米国) : 緑内障・高眼圧症 フェーズ I

ONO-4059 錠剤

ONO-4059 はBtk 阻害剤でB細胞リンパ腫を対象に開発を進めています。

海外 (欧州) : B細胞リンパ腫 フェーズ I

イメンドカプセル (ONO-7436) /MK-0869

国内 : 抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 申請中 (小児での効能追加)

グラクティブ錠 (ONO-5435) /MK-0431

国内：2型糖尿病（速効型インスリン分泌促進剤との併用療法）フェーズⅢ（効能追加）（米メルク社と共同開発）

グラクティブ・メトホルミン配合錠 (ONO-5435A) /MK-0431A

国内：2型糖尿病（ビグアナイド系薬配合剤）フェーズⅢ（米メルク社と共同開発）

注射用オノアクト (ONO-1101)

国内：心機能低下例における頻脈性不整脈 フェーズⅡ/Ⅲ

オパルモン錠 (OP-1206)

国内：手根管症候群 フェーズⅡ（大日本住友製薬株式会社と共同開発）